

## 7. 所信

副会長 候補者

氏名 清水信義

いま、医療は急性期医療の抑制、回復期の医療の拡大、慢性期と介護から在宅への誘導と急速にそしてかなり強引に進んでいます。方向は決まっても、それぞれの地域により需要は異なり、またそれに対する医療体制も地域により様々です。今後は、実際の地域の医療の実情を正しく把握しその方向を決めることが今後の医療体制を維持する上でも重要な事柄です。

医師の働き方改革もこれから本格的な議論が進むと思われれます。日本医師会の勤務医委員会でもようやく中心議題として取り組みを始めました。急患に対する時間外労働などは、医師としては当然の責務ですが、それには日常の業務が過重でないことが要件です。引き続き勤務医委員会のなかで議論を進められるよう尽力します。

「健康日本21(第二次)」それに繋がる「健康おかやま21(第二次)」は、人生100年時代を迎えるためのひとつの施策です。直ぐには目には見えませんが、それぞれの数値目標はゆっくりですが改善してきていますのでその周知を進めたいと思います。ことに、喫煙の健康に及ぼす有害性については、まだまだ社会の認識が乏しいようですので、機会あるごとに周知に努めます。

医療事故調査制度にも10年来関わっていますが、まだまだ制度の不備はあるもののこの制度の円滑な実施は、医療事故の減少に繋がるものと確信しています。

これらの推進のため、自身の健康維持に努め全日本医師テニス大会80歳クラスでの入賞を目指します。

※会長・副会長候補者は800字程度、その他の候補者は400字程度で記入ください。(様式は問いません)

※なお、所信表明のご記入については立候補の必要条件ではありません。